

独立行政法人日本貿易保険 決算報告書

(2007年4月1日～2008年3月31日)

(単位:百万円)

区分	予算額(A)	決算額(B)	差額(B-A)	備考
収入				
業務収入	11,059	12,690	1,631	
正味収入保険料	9,775	9,615	160	(注1)
正味回収金	250	0	250	(注2)
受取利息	1,034	2,978	1,944	(注3)
その他業務収入	0	96	96	
被出資財産からの回収金	13,046	11,374	1,672	(注4)
有価証券の償還	7,500	32,490	24,990	(注5)
短期借入金	0	0	0	
前年度繰越金	33,781	33,781	0	
計	65,386	90,334	24,949	
支出				
業務支出	6,247	6,234	13	
正味支払保険金	1,536	103	1,433	(注6)
人件費	1,405	1,411	6	
国庫納付金	0	0	0	
その他業務支出	3,306	4,719	1,413	(注7)
投資支出	615	2,756	2,141	
システム開発費	600	2,685	2,085	(注8)
その他投資支出	15	72	57	(注9)
有価証券の取得	15,000	52,898	37,898	(注5)
短期借入金返済	0	0	0	
その他の支出	2	2	0	
翌年度繰越金	43,522	25,215	18,306	
予算差異	-	3,228	-	
計	65,386	90,334	24,949	

(注)金額は、百万円未満の端数を四捨五入して表示しております。

【予算額との差額の主な要因は、以下の通りです。】

- (注1) 当初予定を下回る保険契約高となったことから、予算額を下回りました。
- (注2) 正味支払保険金が少なかった事等により、正味回収金は予算額を下回りました。
- (注3) 被出資財産からの回収金を財源として余裕金を運用したことにより、受取利息の額は予算額を大幅に上回りました。
- (注4) 円高による為替差損の発生等により、被出資債権からの回収金は予算額を下回りました。
- (注5) 余裕金を短期政府証券等により運用したこと等により、有価証券の取得による支出及び償還が予算額を上回りました。
- (注6) 事業環境が良好であったことから、正味支払保険金は予算額を下回りました。
- (注7) システム開発に伴う関連経費等の支出の増加により、その他業務支出は予算額を上回りました。
- (注8) システム開発のスケジュールを変更したため、システム開発費は予算額を上回りました。
- (注9) システムの機能拡充のためハードウェア等の調達により、予算額を上回りました。